

人体の不思議展中止申し入れ報告

2009年12月8日

大梶

1. 熊本県教育委員会

期日：2009年12月8日(火)10:00～10:20

場所：県庁新館6階 熊本県教育委員会文化課

対応：米岡正治（文化課長）、他に係員1名

申し入れ者：大梶、高尾、田中直光、松岡徹

内容：申し入れ書に基づき行う。人体の不思議に疑問を持つ会の資料も持参して手渡した。
特に県立美術館を所管する文化課は実態をつかむべきで、開催場所の提供は見送るべきであると申し入れた。

→申し入れ内容は上司に伝えて、検討する。

取材：TKU報道編成制作局報道制作部(西本圭記者)、熊日編集局社会部（藤山裕作記者）

2. 熊本朝日放送

期日：2009年12月8日(火) 14:00～14:10

場所：熊本朝日放送 一階ロビー

対応：20代の実行委員会事務局員を名乗る男性

申し入れ者：大梶、高尾、田中直光

内容：KABの対応が不適切ではないかと指摘して、申し入れ書に基づき中止申し入れ。

「責任者はいない。（自分は）KAB社員ではなく、外部の企画会社の人間。」「人体展の受け入れ経過は分からない。」「人体展は直接観たことはない。」「申し入れ内容は伝える。」「今年の7月頃から準備している。実行委員会事務局は10人ほどいる。」「実行委員長等は教えられない。」「(自分の)名前もいえない。」「名刺ももらえなかった。

以上、前日からアポを取っているにもかかわらず、非常識な対応であったので、申し入れ文書は後日、KAB社長宛に郵送することにした。

以上



県教委への申し入れ (2009/12/08)